

人をつなぐ広報紙“もみじん”

# momiji

2024, May Vol.10



# もみじ、あつたけえ。

# momiji

# 10th Anniversary

10号  
発刊記念!



今後の参考に  
アンケートの  
ご協力をお願いします



### ★スペシャルサンクス★

「人と人が笑顔でつながる地域づくりに貢献する」を基本理念としているもみじ館。そこで働く“人”を特集してきた『momiji』も第10号目となりました。私たち編集チームは「私の働く職場は魅力溢れるあたたかい施設」だと胸を張って言うことができます。職員一人ひとりからにじみ出たあたたかさや繋がりが、もみじ館は施設全体がそのあたたかさで満たされているような施設だと編集を重ねるたび強く感じています。

そのほか、編集に携わる中で施設内の取組みや行事・地域貢献活動に触れることもでき、自分の知らないもみじ館を改めて知る機会にもなりました。この場を借りて、これまで取材と編集に協力して下さった皆様へお礼と感謝を申し上げます。そして今後とも広報誌momijiをよろしくお願いたします。

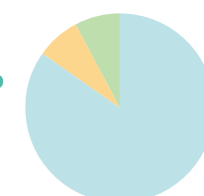
Q

### もみじ館利用者アンケート

対象:ご利用者様またはご家族様

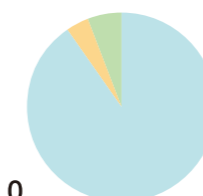
### Q ご利用者・ご家族に対する接し方や配慮・対応は十分に行われていますか?

■ 良い 90 ■ やや良い 8  
■ 普通 8 ■ やや悪い 0 ■ 悪い 0



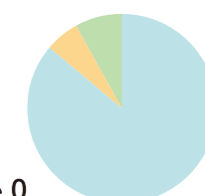
### Q 職員の挨拶や言葉遣いは丁寧ですか?

■ 良い 94 ■ やや良い 4  
■ 普通 6 ■ やや悪い 0 ■ 悪い 0



### Q 職員の服装や身だしなみは清潔感がありますか?

■ 良い 87 ■ やや良い 6  
■ 普通 8 ■ やや悪い 0 ■ 悪い 0



その他の回答はQRコードから御覧いただけます



## 特別養護老人ホームもみじ館

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町2222-1  
電話番号 029-259-9295 / FAX番号 029-259-9296

### 提供サービス

- 特別養護老人ホーム定員54名 (ユニット型個室)
  - 地域密着型特別養護老人ホーム定員23名 (従来型個室)
  - 短期入所生活介護定員30名
  - 通所介護定員40名
  - 訪問介護 ○居宅介護支援サービス ○配食サービス
- ※同建物内に水戸市内原高齢者支援センターもございます。

『特別養護老人ホーム もみじ館』公式ホームページ

『特別養護老人ホーム もみじ館』公式Instagram

『特別養護老人ホーム もみじ館』公式Facebook

<https://hokuyoukai.jp/momiji/>

<https://www.instagram.com/momijikan/>

<https://www.facebook.com/momijikan1997/>



# SHINICHI HANAWA

にきました。もう8年になるんですね。  
ギターっすか？ ギターを始めたのは小学生5、6年。親父のぶっ壊れたギターを触ってましたね。アコースティックだから、最初に弾いた曲は加山雄三だったかなあ。  
当時は金もなかったし、楽譜なんてないから、聴きながらキーを押さえて感じていた。なんとなくっすよ。音楽で好きだったのは、うっせー系。ロックとかパンク。俺ら世代だと、ブルーハーツとかね。



る。俺はたくさん話すようなタイプじゃないんだけど、年配の人たちには癒やされてましたね。小さい頃から母ちゃんがいらないから大人とか同世代の子にコンプレックスがあった。  
年配の人と関わると「かわいそうと思われ自分」を忘れられるっていうか。それでギターかき鳴らしてロックとかパンクとか叫ぶような少年になったんだよね。  
なんの話しちゃってんだ……。職員たちにですか？ みんな、身体に気をつけてな。

## 埴真一

通所介護課課長  
(この春、ケアレジデンスデイサービスセンター五軒町の管理者へ)  
いつも誰より早く出勤して、準備をしてくれています。後ろから職員を見守っていてくれる、そんな埴課長はもみじ館のみんなの推しです。この春よりもみじ館を離れ新天地へ。頼るのがへたなところがある埴課長ですが、愛すべき人です。五軒町の皆さま、埴真一をよろしくお願いします。

## もみじ館を愛し、愛された8年間。気配り上手の心優しい「ロックカー」

### 10号発刊 特別企画！ Staff Interviews

#### ギターを手にとった少年時代と福祉の世界に入るきっかけ

茨城の勝田出身です。小学2年の頃に母ちゃんが亡くなってから祖父母に育てられました。大学生のとき、じいちゃんがやべえってなって見てくれた介護士の影響が大きいな。そこでこの仕事に就いて感じですね、はい。北勝園に就職してデイと入所なんかを経験し、2016年にもみじ館

#### 親戚との考えの違いが露呈した親代わりの祖母の介護

そうだなあ、コロナのときも3・11のときも大変だったけど、ばあちゃんが亡くなったときに精神的にきつかったっすね。  
俺が介護の仕事をしているっていうので、親戚はばあちゃんのこと俺に任せっぱなしだった。家で看るのは限界があるから、以前働いていた施設に入ってもらったんす。なんかあれば、俺もすぐ

行けるしって思ってた。  
で、ばあちゃんが亡くなって葬式で、まさかの責められたんすよ。「ばあちゃんが死んだのはお前が施設に入れたからだ」って。感謝されてもいいと思ってたから。介護に対する考え方がここまで違うんだってショックでしたよね。そのあと、親戚から謝ってもらって一応、気持ちには折り合いつきましたけど。  
そういう状態でもここに来ると、よくしてくれる利用者さんもあるし、支えてくれる職員もい



「この2人がインタビューを受けるとは！」と驚いた方も少なくないでしょう  
もみじ館に貢献している須藤明子課長と、埴真一課長に話を聞きました。

ぐっと減ったのを覚えています。高校に進学し、バレーボールをやっていたんですが、部活の先輩の中に、北水会病院に就職した人たちがいました。それで、情報が得やすかったっていうのもあるのかもしれない。私が看護の道に入ったのは、今思うとこういっただきっかけがありました。  
20年間の看護の変化ですか？  
……まず、検査器具が違いますよね。体温計や血圧計は水銀でした。脇にはさんで10分待って体温を測っていました。サチュレ

ションモニターもありませんでしたから、顔色や爪の色を見たり、呼吸の状態を目で確認していました。これは今も大事なことです。あと、昔は「看取り」という概念がなかった。利用者さんが急変したら、救急車を呼んで病院へ。心肺停止であれば、心臓マッサージも処置されていた時代です。  
当時は延命や治療が最優先であつた医療が、介護の現場とのコミュニケーションをくり返し、現代のお看取りのカチチができた

看護チームのみんなにも、感謝しています。大変な業務をいかにカバーできるかをそれぞれが考えて提案し、行動してくれる。わたしも含めて、今できることを着実にやってきたからこそ、チームのことを気にする余裕が出てきたのかもしれない。  
私にとって、もみじ館はなくてはならない場所です。生活の一部になっていきます。  
これからの他の部署と連携しながら、よりいい環境で仕事が続けられたらいいなと思っています。



## 長年、もみじ館の安心を支えるやさしさと信頼の人

看護職を目指すきっかけと20年のケアの変化  
看護職をやっています。専門学校を卒業して、北水会記念病院に就職しました。ここにやってきたのは2004年だから、もみじ館には20年勤めていることになりました。  
私が看護師の方と初めて関わったのは8歳のとき。初めて入院することになって。その時に対応してくれた看護師さんがとても優しく、親元を離れた不安が



と思っています。  
利用者さんとの距離感が近くて、親しみやすい雰囲気を感じますね。各フロアのルールづくりや申し送りのノートを見ていると、利用者さんの願望や行動をさまざまな面からとらえようとしていることがわかります。たとえば「帰宅願望の強い方へのケアをどうしたらいいの？」という議題に、たくさんの方の検討のあとが見られますね。

## 須藤 明子

看護課課長  
いつだってぶれないやさしさと、もみじ館をずっと守ってくれています。もみじのマザーテレサであり、みんなの支え。須藤課長に相談するととっても安心できます。優しすぎて無理しちゃうのがちょっと心配だけど、「この人を支えたい」と思わせてくれるそんな素敵なお人。もみじ館自慢の看護課長です。

# AKIKO SUDO

# もみじ館 三人娘 座談会

「もみじ館の顔」とも言える  
窓口業務に携わる3人が集合!  
お客様に笑顔でご案内する  
西村則子さん、大木浩美さん、  
高村直美さんに  
自身の仕事について、  
そしてちょっとした息抜きについて  
語ってもらいました。

## もみじ館で働くきっかけ

高村 入って2年目の私から、先輩方にうかがわせてください。お二人は入職して何年ですか？

西村 気がつけば、20年……。

大木 すこいよね。私はまだまだ。勤続10年。

高村 すこい！20年前のもみじ館はどんな感じでしたか？

西村 当時はまだ保育園も建っていないから、駐車場が敷地内であってね。近くのローソンの先は道がなかったの。あたりは雑木林が続いていて、静かなところだった。今よりも車の出入りは楽だったわ。

高村 なんだか想像できませんね。お二人がもみじ館で働くきっかけってなんだったんですか？

大木 前職は銀行でパートの仕事をしていただけで、フルタイムで働きたいなと思ってたときに、友人がこの求人情報を教えてくれたの。だけど、面接でドジやつちやっけてね。間違えてくるみ

末。そこから国保連\*への請求をするのが毎月10日。お給料の支払いが毎月15日だからね。どうしても集中しちゃうの。

高村 利用者さんや職員、お引き取り業者さん……全部合わせる1000人を超えるってわかったとき、驚きました。あとは、職員さんとの連携を徹底しているところがすこいと思います。

大木 最初はそうじゃなかったの。体調不良の利用者さんがいた時、職員はご家族へ連絡をして迎えに来てもらうんだけど、私たちは知らないから窓口でご家族をお迎えしたときにチンプンカンプン……ということもあったり。

西村 大きい施設なのでね。連絡が来ていないと、お客様にも迷惑がかかってしまう。だから、何かあつて家族さんに連絡をしているような時には、情報を入れてもらうようにしたの。デイサービス、シヨート、ユニット、看護師、相談員……各セクションごとに。本当に助かっています。

高村 例えば「家族さんに連絡をして物品が足りないの持ってきてもらおうよ」とお話をしてありますので、窓口で受け取ってください。なんてことがありましたね。スムーズなご案内には、試行錯誤があつたんですね。

## 職員と自身の息抜き

大木 前に比べたら事務所に足を運ぶ人が増えたかもしれないね。「事務所は敷居が高い」なんて言われたこともあった。

高村 以前は理事長のお席もあつたと聞いています。

西村 そうでしたね。あとは、昔は業務にいつぱいいつぱいで、用

館に行っちゃったの。お電話したら「はい、もみじ館です」って西村さんが出て。今でも覚えてます……はい(笑)。

西村 そんなこともあつたね。私は42歳の時、もみじ館で事務員を募集しているのを知って。家が近かつたというのと、中途採用で40代を受け入れていたのが縁だったの。高村さんはどうしてもみじ館に？

高村 うちの中3の長女と小5の長男がいて、子どもたちが「そろそろ働いてもいいよ」って、あつさり親離れをしてくれて(笑)。元は花屋で働いていて、事務職も介護業界も未経験でしたが、今ではすっかり楽しく仕事をしています。窓口で声をかけてくださる利用者さんのおしゃべりが楽しみのひとつです。

## 繁忙期と各部署との連携

大木 月末月初が忙しいよね。

西村 もみじ館のすべての会計(請求業務、勤怠管理)の締めが月事があつて職員さんが来ても、声をかける余裕がなかったのかも。大木 高村さんが来てくれたから、余裕もできた。

西村 教えなくても窓口いらつしやる方に丁寧に対応してくれていてね。大木さんも、職員一人ひとりの顔を見て、元気がない人のことを気にかけていたり。

大木 元気なさそうだなって思ったら、別の職員に聞いてみたりします。「なんかあつたのかな？」って。本人にはすこし時間をおいて声をかけるようにしていますね。

高村 「ストレスがたまつたら、西村さんと大木さんの間に座つて甘いものを食べることにしている」という相談員さんの話を聞いたことがあります(笑)。

大木 黙つて座つてるだけでも息抜きになるんだつたらね。……話変わりますが、休日って何してます？

高村 私は夫とよくDIYしています。テレビボードやキッチン横の棚をつくりました。

西村 ゴルフと体を動かすことをやってきたんだけど、コロナでチームスポーツができなくなつたでしょう。それでどうしようってときに、ホームベーカリーと出合ったの。パン作りもお得意な高村さんに教えてもらつて、この間はフランスパンを作つた！こんなにハマるものがあつて嬉しい。大木さんは？

大木 私はゴルフですね。週に一度は練習に行き、2か月に一度はラウンドに出ています。まっすぐ飛ばすのが気持ちいいですね。

高村 あはは！たくさんおしゃべりできて楽しかったです。

\*国民健康保険団体連合会



### NORIKO NISHIMURA

西村 則子

もみじ館の救世主、どんなアクシデントも難なく解決してしまう、本当に頼りになるかっこいいお姉さんです！パン作りはさることながら、お菓子作りも……。リンゴのケーキは超絶品♥ケーキ屋さんのショーケースから飛び出てきそうです！（大木談）



### HIROMI OHKI

大木 浩美

とても明るく、テキパキと仕事をこなし、誰とでもすぐ打ち解けられるコミュニケーション能力を持っています！困っている職員がいると、すぐ助けを差し伸べてくれる優しさ溢れる素敵な女性です。ゴルフ姿もよく似合ってます！（高村談）



### NAOMI TAKAMURA

高村 直美

初めての介護関係の仕事ということで何事においても興味を持って取組んでくれています。利用者の方やご家族、職員にも明るく丁寧に対応してくれるので安心して窓口業務を任せられます。また、パン作りでは私の師匠です。（西村談）



誰でも使える

# もみじの集い場

気軽に来てね!



## もみじ会館

もみじ会館は、2023年6月に開館しました。使われなくなっていた旧陶芸室をリノベーションし、施設職員だけでなく多様な方々が気軽にそしてフリーに使える交流出来る場を作るべく、昨年3月よりプロジェクトチームが立ち上がり、何度もミーティングを重ねました。有志職員達は、忙しい合間を縫って清掃や内装整備を請け負い、物品の寄付などもありました。またメインテーブル・椅子の作成やカーテン等の作成は地域の方々に協力して頂きました。このようにもみじ会館は、人と人の繋がり、ご縁があって立ち上げることができ、おかげ様でどんどん繋がっています。まだ立ち寄ってない方も是非一度のぞいてみてください。

### 基本情報

- ◆ 開館日 月・火・木・金 ※ 祝日は閉館
- ◆ 開催行事 月2回のマルシェのほか施設ご利用者様への各種教室
- ◆ その他 内原地区の就労支援事業所の物販(ジャム・ひまわり油・せっけんなど)あり
- ◆ お問い合わせ先: 川又 (029-259-9295)



▲リノベ前にみんなで大掃除!



◀▲ご利用者様の親族の方も手伝っていただきました



## M-FIT



M-FITは身体の運動機能向上と体を動かすことでの爽快感を感じてもらうことで、心身ともに健康になってもらうための活動です。施設内の職員のほか、一般の地域の方にもご参加いただけます。ご興味がございましたら、どなたでもお気軽にご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

### 基本情報

- ◆ 開催日 筋トレ —— 18:15～18:45 [月・金]  
コアトレ —— 18:15～18:45 [水]  
ストレッチ —— 19:00～19:30 [月・水・金]
- ◆ 場所: もみじ館内1Fリハビリスタジオ
- ◆ お問い合わせ先: 鈴木 (TEL.029-259-9295)

1レッスン  
500円  
[予約制]

## MOMIJI FAMILY HISTORY

# 家族小咄

2023年、もみじ館で天寿を全うされた金子ミヨさん。その後も、ミヨさんのご家族との縁が続いています。長男の金子弘文さんに、もみじ館と関わり続ける理由をうかがいました。



「面白い人が多いじゃない。ミュージシャンだったり、みんな一芸持っているでしょ。私もカラオケが好きだから、弟子になりたいと思って(笑)。それにほら、もみじ館のモットーって『笑顔』でしょ? みんな笑っているのがいいんだよね」

「人と人とが笑顔でつながる地域づくりに貢献する」という、もみじ館の理念を、ご家族が理解してくださっているなんて! と驚きそして喜ぶ取材陣。その後も、ご家族を招待した食事会に足を運んでくださったそう。

「お昼ごはんにお呼ばれしてね、母と同じお重をいただきました。ここでの食の体験が印象に残っています。食事って楽しみのひとつでしょう。管理栄養士さんが考えてくれた献立は、栄養バランスも

冗談を言いながら、取材陣を和ませてくれる弘文さん。ご自身は長年銀行にお勤めで、月に一度発行される会報誌ができるもみじ館まで届けてくださるなど、現在も定期的に顔を見せてくださいます。もみじ館に通うきっかけとなった出来事があるのでしょうか?

「お祭りの手伝いかな。休みの日に何かやりたいなあと思っていました。ちょうどいい場所があった」

夏祭りにボランティアとして関わり始めた弘文さんは、そこでの職員たちとの交流が楽しかったと言います。



取れていて、美味しい。おふくろはこういうものを食べているのか、と施設に対する安心感が生まれました」

さらには、ミヨさんともみじ館の関わりを見ていくうちに、ご自身も福祉に興味を持ったと言います。

「もうすぐ定年なので、ケアマネや管理栄養士などの資格の勉強をしてみるのもいいかなと思っています。わたしはいつも人を笑わせたいと思ってるんで、笑顔が集まるもみじ館は居心地がいいんですよ」

職員のことを見守り続けてくださっている弘文さん、嬉しい言葉をたくさんいただいたインタビューとなりました。

## 人を笑わせるのが好きだから 笑顔が集まるもみじ館に行く

ご家族の気持ちをすこしでも明るくしたいと、お声かけをさせていただくことがあります。利用者様の人生を共有させていただく時間となります。

「長年一緒に暮らしてきた愛犬と過ごしたい」というご要望にお応えし、一緒に過ごしていただけるお時間をつくりました。

思い出話で盛り上がる

相談事もおまかせを

「誰に言えばいいかわからない」と家族や親族の入院後のケアについて、職員に直接お電話をいただくことも。頼りにしていただけて、嬉しいです! →相談はこちらでもお受けしています(もみじ館介護相談センター) tel. 029-259-2364

愛犬と過ごす

家族と一緒に風呂介助

ご家族からのご要望があれば、ご家族の方と一緒に風呂の介助をすることも。

## ご家族とのエピソード5選

お客様と職員間のコミュニケーションは、いたるところで行われています。今回は、その中でも厳選したエピソードを集めてみました。